

第3回審議会（全体会議）議事録【概要】

日時

平成27年8月25日（火）午後3時から午後4時45分まで

場所

館林市文化会館 会館棟2階3号室

出席者

【審議会委員】32人

三條秀子委員 中嶋直一委員 奈良与志則委員 仁田征子委員 星勝正委員 櫻井正廣委員 河野哲雄委員 川島康宏委員 島田信夫委員 角田好二委員 堀越一孝委員 松田光正委員 松沼記代委員 山崎紀夫委員 泉澤信哉委員 権田昌弘委員 川島栄子委員 小林茂代委員 鈴木幸子委員 鈴木義明委員 長柄和永委員 野村和利委員 森静子委員 橋本徹委員 斎藤貢一委員 牛久保三郎委員 斎藤昇司委員 古屋秀樹委員 三田英彦委員 茂木正美委員 青木一夫委員 高橋次郎委員

【策定委員会委員】13人

市長 副市長 教育長 総務部長 市民部長 保健福祉部長 経済部長 都市建設部長 環境水道部長 議会事務局長 教育次長 消防長 秘書課長

【策定事務局参事】（専門部会正副部会長のみ）9人

安全安心課長 市民課長 介護高齢課長 社会福祉課長 文化振興課長 生涯学習課長 産業政策課長 行政課長 市民協働課長

【事務局】9名

政策企画部長 企画課長 政策推進係長 政策推進係職員3名 まちひとしごと創生係長 まちひとしごと創生係職員2名

1 会議内容

【総合計画の部】

(1) 開会

(2) 館林市第五次総合計画後期基本計画答申

- ・事務局より、7月8日開催の第2回審議会全体会議において、再検討するよう意見をいただいた部分について、会長、関係部会長及び事務局で協議を行った結果を説明。
- ・山崎会長より、答申書を読み上げ安楽岡市長へ答申書を手渡し。

・安楽岡市長お礼

館林市総合計画後期基本計画の答申に際しまして、ひと言、お礼のごあいさつを申し上げます。

ただ今、山崎会長より答申をいただきました。総合計画審議会委員の皆様には、昨年12月より、延べ20回以上に渡りまして熱心な議論をいただきましたが、皆様のこれまでの長い間のご尽力に対し、心より感謝を申しあげる次第です。

いただきました答申は、皆様の館林市に対する想いがしっかりと凝縮されたものであると思います。行政を預かる者として、大変身の引き締まる思いです。

これまでの審議会の中で、皆様からのご意見やご要望を真摯に受け止め、「水と緑と人が輝く共創都市たてばやし」実現のために、精一杯、努力していく所存です。

総合計画の審議は、本日をもちまして終了となりますが、今後とも市政運営に格別のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、ご列席の皆様のご健勝とご多幸、今後益々のご活躍を心よりご祈念申しあげまして、あいさつに代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

【地方創生の部】

(3) 協議事項

ア 館林市人口ビジョンについて

- ・館林の少子化対策とその結果を総括してください

⇒少子化対策を行った結果が、成果として結びつくことは難しいというような結論に至っています。

- ・館林で仕事をしている人の割合はどの程度ですか

⇒生産年齢人口は70%前後で推移、65歳以上は平成22年で21.1%。それらを合算したかたちでの生産年齢人口と老年人口と合わせた15歳以上全体は55.7%です。

イ 説明事項

- ・配布資料を説明しました。

(委員からの意見)

- ・2014年の合計特殊出生率はどの程度ですか。

⇒まだ集計されておりません。

- ・56,000人に合わせて出生率を変化させていったのですか。

⇒56,000に合わせたのではなく、2人の夫婦で2人の子どもをつくり、人口を

維持していくという目標を考えて設定しました。

- ・出生率が、2013年に1.29に下がった理由は分かりますか。
⇒館林のような小さい単位で集計をとった場合には、一人の子どもが生まれたかどうかで数字が乱高下しやすい状況にあります。そのため、たまたま2013年下がった可能もあります。

- ・合計特殊出生率は難しいと思いますが、2014年の出生数は出せますか。
⇒次回の会議までに確認します。

- ・6ページの館林の現状ですが、これには外国人は含まれていますか。
⇒外国人も含まれています。

- ・人口が減ると税収も減るのは当たり前の話ですが、これと対比するかたちで支出予測はできませんか。
⇒人口減少等を踏まえ、公共施設等の利活用への民間活力の活用や、空き家対策の推進を通し、既存ストックのマネジメント力強化を図るということを行いながら歳出を抑えていきます。

- ・安心して子どもを産めるような施策を具体的に教えてください。
⇒子どもを産ませるということは行政にはできないので、実際には子育て支援ということで、安全で安心な子育てができるかという施策を行っていくことになると思います。また、婚活にも力を入れていかなければならないと思っています。

- ・人口について、個人に焦点を当てるだけでなく、世帯がどういう年齢階層なのか、何世代なのかを群馬県のデータなどで見て、そういうものと比較しながら議論してほしいと思います。
⇒参考にさせていただきます。

(4) 閉会